

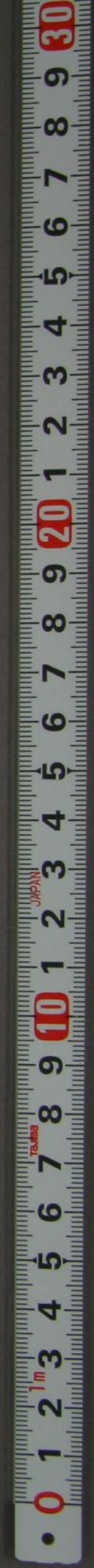
414
A 344
3

秘



旗丁著三三二号二
八月十三日米國海陸軍聯合馬尼刺砲擊
報告
馬尼刺市攻擊月報實況報告
仕候也
明治三十一年八月二十五日
於馬尼刺灣
常備艦隊司令官野村貞
海軍大臣侯爵西鄉從道殿

264
1-2



418 A



Vertical Japanese text, likely a report or communication, written in a cursive style. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side.

485
1-1

八月十三日米海陸軍聯合馬尼刺砲撃ノ實況

馬尼刺市砲撃ニ関シ海上ヨリ目撃セシ實況ハ極メ
單純ニシテ艦隊ニ向ツテ抵抗ナサル堡壘並ニ都市
ニ對シテ艦隊ノ陸兵掩護的砲撃及示威的運動
ヲ行ヒタルニ外ナラズ茲ニ當日米海陸軍ニ從軍セル時次
陸軍砲兵大尉ノ陸上視察談ヲ参考シ海陸進攻ノ
概況ヲ記述ス

前日米艦隊ノ碇泊場所ハ九ノウシ
カビテ
「マワク」
「ロワク」
「カヤラ」
「モントレル」
「レ」
「ボストン」
「バルケモワ」
「マワク」

「マワク」
「ロワク」
「カヤラ」
「モントレル」
「レ」
「ボストン」
「バルケモワ」
「マワク」
報知偵察ノ任務ヲ有スルカ以テ數

カマエラ カビテノ向ヲ往来ス

クシホノ陸岸 ヲケヤレストン

マニラ河口 ヲマニレル コンホル

十三日ハ朝未曇天ニシテ微風南西ヨリ来リ時々驟雨ヲ伴フ

午前十時米國艦隊戦術準備

午前十時四十分米國旗ヲ翻セシ外輪流船廣海陸兵ヲ

搭載シテケヤレストンノ近傍ニ投錨ス

八時四十五分米艦隊運動ヲ始メマニラニ向フ此時旗艦オリ

ムビヤ其他「モントレル」「レ」「ボストン」「バルケモワ」「マツクワ」「ケヤ

レストン」「カヤラ」「セ艘」ニシテ殆ント陣形ヲ為サズ蓋シカビテ錨

地ヨリ攻撃地迄ノ巨高ニ三哩ノ少巨高ナルニ因リ陣

形ヲ制ルノ猶豫ヲ有セザリシ故ナシ「マニレル」ハ「マニラ」沖ヨ

リ之ニ会ス「コンホル」ハ尚ホ「マニラ」河口ニ在リ

九時五分米艦各橋頭ニ国旗ヲ掲シ

九時三十分旗艦「オリムピヤ」約五千米突ノ射巨高ヲマニ

ラ「保工」ニ向テ先ツ砲撃ヲ開始ス後続テ「マニレル」

「カララ」次テ砲撃ヲマニラ「保工」ニ集注ス

九時四十分艦隊ノ陣形稍ヤ整ヒ概シ西國ノ以テ排到

占位スルヲ見ル

旗艦「オリムピヤ」「カラオ」「マニレル」「ラレ」ヲ本隊トシ陸岸ニ沿

ヒ砲撃ニ任ス

「ケヤレストン」「バルケモワ」「ボストン」ヲ遊撃隊トシ本隊ノ脊后

ニ軍隊陣ニ配置ス「マツクワ」ハ独り列外ニ在リ

「モントレル」ハ「マニラ」城正面ニ直進シ十二時或門ノ砲口ヲ向

ケ威ヲ示セリト魚尾「遂」ニ砲撃セズ

ゴシブルドハ独佛中立艦隊トマ市ノ向ニ配置シテ
独艦「カイサー」(旗艦)「オカスタ」「ウイルヘルム」佛艦「バヤード」(旗艦)
ハスカルハマラホシ沖ニ我松島浪速英艦「ラウトラ」「ロング
ミ」「ハカビラ」ニ砲泊シ英艦「イモタリケ」「イフゼテ」ハ本艦隊
ト同時ニ接敵カビテラヤテマラホシ方面ニ漂泊觀戰セリ
十時五分本隊四艦ノ砲撃益々熾ナリ陸上ニ於テハ千五
百碼ノ射巨砲ヲ以テ猛烈ニ野砲射撃ヲ凡十五分間
続リテ有勢ニ攻撃大砲ノ作戦方畧ハ如ク先々
後手ヲ有勢ニ砲火ヲ集注シ敵ヲシテ全ク挫權セ
シメ然レハ收歩兵ヲ用ヒテ堡塁ヲ占領セントスルアリ
日艦「イモタリケ」艦セ末防ノ部マ引堡塁ニ近
クルガ砲火内ヲ備ヘタルヲ以テ向堡ト艦隊内ニ多
ノ砲撃ヲ下ルトルアリシモ堡塁ヲ艦隊ニ對シテハ

始終一発ノ砲弾ヲモ發ゼザリシ末本艦隊ハ堡塁砲
撃ニ方リ僅軍者哨線ノ左翼ニ海流ニ信ヲ兵ヲ配
置シ(堡塁ヲ巨砲千五百末突)一彈ヲ發スル毎ニ方
形赤色旗竿ヲ赤ハ左右ニ振り分け彈着点ヲ示
シ艦隊ニ注意ヲ與ヘタルヲ以テ五六発目ヨリハ緊要ナル
部分ニ命中スルニ至リタリ
「カラオ」ノ如キハ堡塁ニ接近停止シテ十口全連射砲ヲ
連發スルヲ見シ
十時十分左ハ無步兵堡塁ヲ向テ前進ヲ起ス
十時三十分艦隊堡塁砲撃ヲ止馬尾刺戟内ニ三隊ニ
一丸ヲモ送ラサリガ如シ「ラレ」「ヤト」ハ兩艦ハ岸岸ニ接
シ盛ニ奏樂ヲ志陸兵ヲ鼓舞ス陸兵ハ歩兵銃聲
シテ響云

十一時陸兵マラテ堡壘ヲ占領シ未ダ旗ヲ掲ケ其後
砲声ヲ絶シ

十時四十分旗艇「オリムピア」馬尼刺陣方面ニ自ラ
帆船信及DWHB(降服)ヲ掲ケ降服ヲ促ス西兵遂ニ
休戦旗ヲ樹ツ當時湾内中ニ兵軍艦皆懸信旗ヲ
以テ之ヲ受ケ馬尼刺降服スルモノト臆断セシ其後未
至士官ノ言ニ降服ヲ城内西兵指揮官ニ促シタルヲ
知ル

陸軍ハ豫備隊二個大隊ヲマラテ堡壘ニ移シ全軍直
ニマラテ城ニ進ム
司令官メリット少将ハ始メヨリ運送船「サロ」ニ在リ陸岸
ニ近接漂泊シ攻進ヲ監視シマラテ堡壘ヲ占領後上陸
ス

十一時廿分マラテ堡壘ノ東方ニ黒烟大ニ起リ暫時シテ
止ム大彙庫ノ火ヲ失シタルモノハ此
米艦隊ハ皆「マラテ」沖ニ投錨セリ各艦ノ戦闘旗ハ尚ホ
之ヲ降サズ

十一時四十分米軍城下ニ麩圍集スルヤ西軍艦港七艦門
ニカテ迎ヘ米軍オニ旅団長「クリ」少将城内ニ入
ル午以降服ノ約事レリト云フ
午後五時五十分城内司令部ノ西班牙必旗ヲ撤シ米
國々旗ヲ翻ス同時米兵各艦逐次廿一発ノ祝砲ヲナ
ス

茲日及往々年亦之何ヲ進撃ヲ初メサンペドロマカケノ方
面ヨリバコヲ船ヘ城下ニ迫ルサンタナニ残留セル西班牙兵
六十余名遂ニ交徒ノ為メ捕虜トナレリト云フ

降伏詰利中又徳老百名旗流ヲ翻シテ城門ニ進川シ
来リ米軍ト共ニ入城ヲ迫リテ米軍之ヲ峻拒シ入レズ
米軍仗ヲ包圍セシム以テ彼ハ口々ニ今ヨリ城
ノ陥後ハ我ハ賜テカヤト喧々罵リテ、憤懣ノ状
態ヲ見出セリト云フ
米軍ハ我ハ念ヲサズ各極深微嚮ノ要衝ニ噴吐
ヲ既留シ皆人衆ノ軒下等ニ露ヲ多ク降服西兵モ亦
如テハ武器ヲ脱セシメズ重々我ニ追駈ヲ望シテ
中ト

五竹三分西兵武装運送船ヲセツルハ川中ニ火
燒スルヲ望見ス
陸軍ノ四隊区ニハ二兩旅團ヲ係立シテ十五兩大隊ノ
第一線ニ既留シ十一兩大隊ヲ豫備トセリ即チ其後

約全軍ノ三分一(各大隊ノ実員不月)ナリ各兵ノ推及帶品
ハ武装ノ上彈藥二百餘箱ニ三日分ノ糧食尤テ以テ
強壯ナル米國兵ト重氏餘程疲勞カシタルモノ、如ク備
作徒テ輕快ナラザルノ觀アリ西軍防禦ノ作戰方
畧及備作ニ関シテハ未ダ知リテハスト重氏ヨリテ堡
壘ヨリ一砲彈ヲ放タス僅ニ如我ノ兵固守シテ銃
ヲ棄セシムルハ確ニシテ先々廿日抵抗ト云フニ近カ
ルハ傍觀者ノ眼ヨリ見ルハ攻撃勢既ニハカノ
約束事立シ居リ且儀式的ノ抵抗ヲナシタルニ似テ
リシヤ、疑アリ

米軍軍ノ死者十一名負傷者五名西軍ノ死傷者
約百五十名余名ニシテ概シテ夫兵ナリト云フ
米軍隊中「バトル」号ノ消費スル彈藥當時砲式槍考案

三行連射砲四十六発ナリ他砲ノ発射隊未タ審テ
ス

米国東洋派軍兵

浪艦ヲ十号艦先ニ以テ末軍ハ七月廿九日互徒ヨ
リマイソック及ビネタ方面ヲ讓ルニケタシボニ章中管ヲ
構ヘお哨ヲマイソックニネタニ配留シマラテヨリ馬尼刺
市ニ侵入ノ準備ヲナセリ全軍指揮友ハメリト少将
ニシテ師团长アンダーソン大将ヲ一旅团长ハマック
リササ将グリレンサ将ニシテ其編制左ノ如シ
第八軍団ヲ二師団ノ編制

第一旅団

旅团长合衆国義勇兵少将マックアーサー (Mac Arthur)
合衆国歩兵第廿三聯隊 二大隊

全 第十四聯隊 一大隊

ミソダ義勇軍歩兵第十三聯隊 二大隊

ノールスダクタ全 第一聯隊 二大隊

イダホ全 第一聯隊 二大隊

ワイヲミング全 第一聯隊 一大隊

アスール砲隊

第二旅団

旅团长合衆国義勇兵少将グリーン F. V. Greene

合衆国歩兵第十六聯隊 二大隊

全第三砲兵聯隊 砲歩砲兵 四中隊

全機砲隊 A 中隊

カリフォルニア義勇歩兵第一聯隊

第一コロラド義勇歩兵聯隊

第一子ブラスカ 全上
 第十ペンシルゲアミヤ全上
 フトワ 義勇
 今 A 砲隊
 B 砲隊

以上
 米軍ノ有スル砲我

三二吋 野砲 四門 A 隊
 ホーキース海軍 Handing 砲門 A 隊

全上 B 隊

三吋ホーキース山砲三門 (アートル砲隊)

ホーキース砲 四門

三吋半ホーキース砲 四門
 カウイテニ在リ

一吋ホーキース砲 一門

タンボ幕営地ハバラヤケ、北約二千米突ニ位シ街道と海岸ニ沿フ森林トノ間ニ存スル正面約四百米突ヨリ二百米突長サ約三千米突ニ直ル長方形ノ地ニテ地位稍ヤ高燥ナルヲ以テ水吐キ好ク衛生上ヨリ云ハハ頗ル可ナルカ如キ觀アリ此ニ就テ上ヨリ之ヲ云ハハ正面狭キヲ以テ展開充分ナラズ且側面ニ據ルベキノ防禦物ナキハ大ニ同シヲ表スルヲ以テス幕営ハ司令部ヲ除キ一種特製ノモノニシテ地上ヨリ約四五呎ノ高サニ作製ノ床ヲ作リ其上ニ帆布製山形天幕ヲ張ル各營幕式右ヲ容ルニ足リササ亦低クシテ僅ニ在スルニ足ル以テ天幕幕長方形幕営地全体ニ亘リ五ヶ有余何ヲ有ス飲用スル雨取若クハ井水ヲ用ヒ糧食ハ

各中隊毎に陸奥ヲ守ルニ重シキ麵包、乾麵包及罐詰
肉ヲ用テ隊中酒類ハ一切禁ジタリ
患者ハ百名ニ對シ約七名ノ割合ナリト云フ
マイワヅク及ビイタノオ哨線ハ嘗テ反逆ノ築キシ斬首
ヲ厚クシ三街道ヲ狭ムテ右接ス長サ約七千五百米突
ハ珊瑚門ヲ守ルオ哨、兵力ハ四回大隊ニテ千五百名
ナリ之ヲ同時一線ニ散開シ毎日午前九時ヨリ翌日
前九時迄廿四時ヲ村ト云フ
本隊トオ哨トノ間ニ僅サナル通信聯絡兵ヲ置クノミシ
テ豫備兵世ニオ哨線ハマラテ保里ヲ巨ルイ千五百米突
許ナルヲ以テ七月三十日ヨリ八月四日迄、三回西軍ヨリ
我龍ヲ五ヶ之シガ奉、米軍士友各名下士卒五十餘
名ヲ失フ

傳ヘ直クメリツト將軍ハ直ニ各ヲ西ニ送指ニ飛バン西軍
ミテ自今我龍ヲオラスニ於テハ米國ハ飛隊ヲ以テ直ニ
マシラ本ヲ砲撃スベシト威脅セシヲ以テ其任ハ至テ平穩
ナリト云フ

元米米國陸軍ハ我九常備兵、外ハ義勇兵ナラ
以テ各自射撃ノ巧拙体格ノ強弱ハ鬼ニ角一形急劇ニ
東洋派米軍ヲ編制シタルモノナラテ軍隊ノ教育及
戦闘訓練不完全ナルハ固ヨリ論ヲ俟タズ從テ各般
ノ働作ニ就キ本邦ノ當該將校ヲシテ批評ヲ下サシメ
ニ向テ表スル能ハ尤點指ヲ屈スルニ違アラズ試ニ其
二三ヲ記スレバ旅團長ノ命令極メテ細密ニシテ殆ト一
兵ノ働作ヲテモ及ビ部下各級ノ將校ヲシテ独斷專制
ノ餘地ヲ存セシメサルヲ感アリ後令ハ進軍命令中各

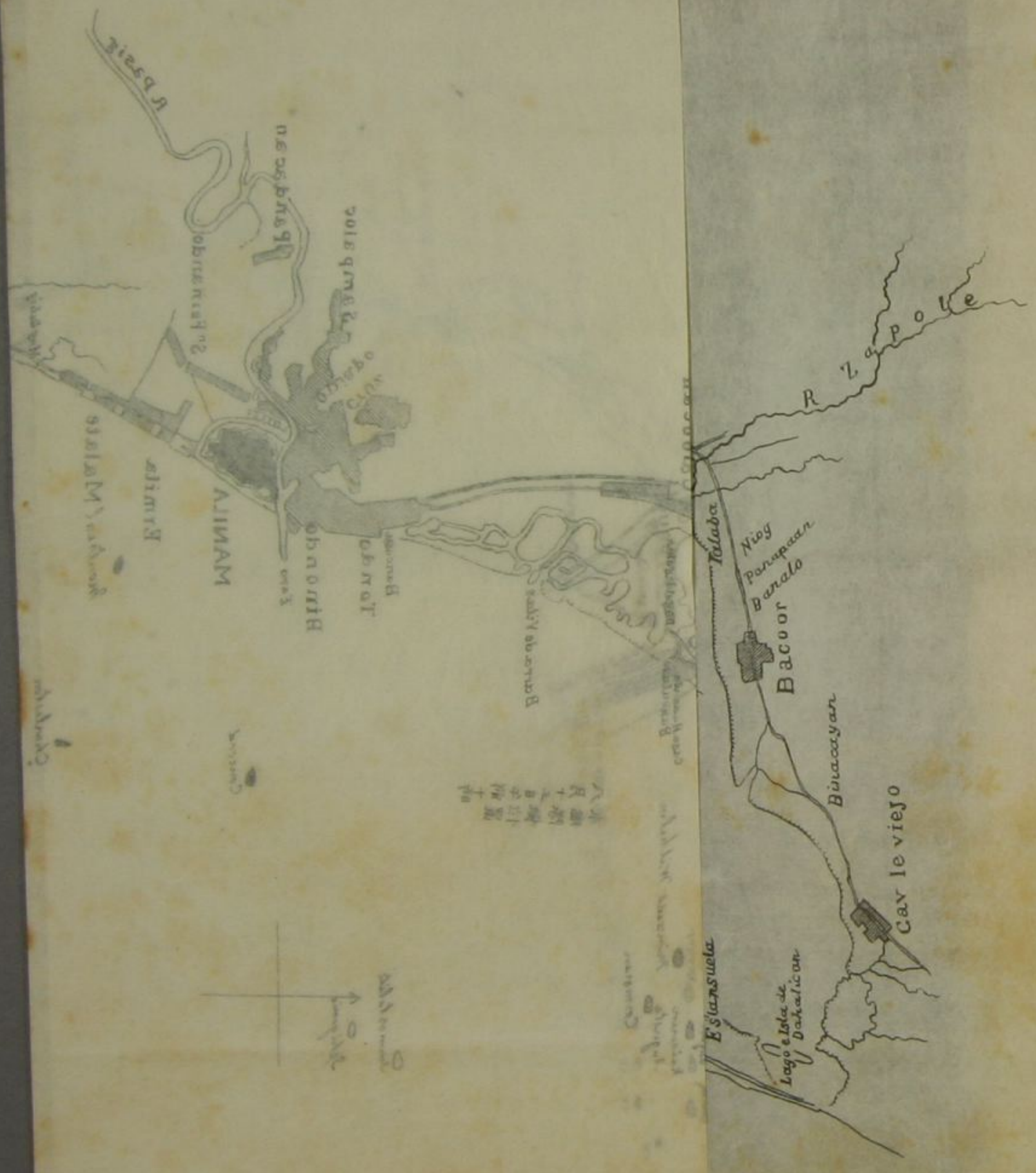
兵ノ携帶スベキ不目ヲ記シテ曰ク

一、各兵ハ銃及銃劔ヲ帶ヘ云々

ト云フカハ又旅团长自ラ哨兵ヲ卒ヒ歩哨若クハ分哨ノ
既備ヲシ哨兵ニ向テ守則ヲ授ルカハ旅团长ノ命令
行動トシテハ餘リニ細微ニ見ル處アリ
夕ノボニ幕営中其分哨線千三百米突ノ正面ニ是千五
百名ノ兵ヲ列向テ既備シ廿四時間其職ニ當ラシメ且部隊
ト、聯絡ニ付キ顧慮少ナキガ如キ
戰團行進中敵方ニ至テ散兵カ側面ヲ暴露シテ行進
シ更ニ退却シテ掩蔽物ニ據リタルカハキ
概スルニ戰團法ニ就テハ其ノ如ク知テ銃ヲ執リテ集
リタル一團中ニ少我ノ正規兵ヲ混入シ若干ノ才能アリ將
校ヲシテ指揮セシメタルカハ下云フハ其ノ適評ナリトス

国家若シ以テ組織ヲ以テ固安ヲ保テ得ルモノトセバハソ

平時巨費ヲ投シテ兵ヲ養フヲ要スルヤ畢竟スルニシテ
殊ノ降伏ハ防禦ナキ都市ニ對スル優勢部隊ノ威迫ニ
シテ降軍兵ハ軍ニ降伏せん城市ノ授受及守兵トシテ
必要ヲ見タリト云フヲ適當ナリトス
然レドモ未軍全取ニ性格強健ニシテ能ク國難ニ堪ヘ疲
勞スルモ倦色ナク軍隊教育不完全ナルモ能ク上段ノ命
ニ服従シ上下一致各其分ヲ知ラテ國事ニ尽スルカハ以
テ一般國民ノ國家的感念ノ深キヲ察スルニ足ルベク又
能ク士民ヲ優待シ秋毫ト當ルカハ我敗者ニ對シテ
亦侮辱ヲ与ヘサルカハ其美風ナリト云フ可シ



Handwritten notes in Spanish and Tagalog, describing geographical details and possibly military or administrative information related to the map. The text includes names of locations and descriptions of terrain features.

Faint handwritten notes, possibly a continuation of the description or a separate set of instructions.



圖說略見每經...
 此圖係...
 ...
 ...

